

仮想アース Crystal E-G の導入(6)(HP 収載)

—Crystal E との置き換え(5)—

1. 始めに

前報(1)の計画にしたがい、既存の Crystal E との置き換えを実施します。

2. Crystal E-G の試聴計画

今回も、ZANDEN Model 120 に使用している Crystal E と Crystal E-G の置き換えを実施します。この ZANDEN Model 120 の Crystal E は、LINN LP-12 と Thorens TD124 に使用しており、今回は Thorens TD124 での試聴です。ZANDEN Model 120 と Crystal E-G の接続は、アースアキュライザーであり、Thorens TD124 のフォノケーブルの接続は、Crystal E 付属ケーブルです。



上段 : Crystal E-G

下段 : Crystal E

音源はアナログ音源の下記を Thorens TD124 で再生します。

ドイツグラモフォン 483 6926

バッハ 無伴奏ヴァイオリンソナタ・パルティータ

ミルシュテイン (ヴァイオリン)

LONDON KIJC 9180/84

ワーグナー ワルキューレ

シヨルティ指揮ウィーンフィル

ドイツグラモフォン 483 6926

バッハ 無伴奏ヴァイオリンソナタ・パルティータ

ミルシュテイン (ヴァイオリン)

ドイツグラモフォン MG 9537-51

ベートーヴェン 選帝侯のソナタ

ゲザ・アンダ (ピアノ)

EMI SLC1331

ヘンデル メサイア

クレンペラー指揮フィルハーモニア

## 2. Crystal E-G の試聴結果

ZANDEN Model 120 に使用している Crystal E で試聴しておき、Crystal E-G に繋ぎ替えて聴き直します。

バッハの無伴奏ヴァイオリンソナタ・パルティータは、Crystal E では、艶のある豊かな響きです。Crystal E-G に替えますと一段と解像度と深みが増します。

ワーグナーのワルキューレは、Crystal E では歯切れよく迫力もありますが、Crystal E-G に替えますと、さらに解像度が増して迫力が高まり、ソプラノやメゾソプラノの歌唱の残響が整理され、定位が明確になります。

ベートーヴェンの選帝侯のソナタは、Crystal E では豊かな響きが心地よいのですが、Crystal E-G に替えますと、余分な響きが後退して、全体に引き締まって力強さがでてきます。

ヘンデルのメサイアは、Crystal E では、合唱の迫力もあり、ソリストの歌唱も伸びやかですが、Crystal E-G に替えますと合唱の分離が一段と向上し、通奏低音も明瞭になり、ソリストの歌唱も一層と張りがでてきます。

前報(2)から本報までの検討から、すべての置き換えにおいて効果を認めましたが、前報(4)と本報のアナログ再生における ZANDEN Model 120 への適用における魅力を探り、ここに Crystal E-G を使用することとし、Crystal E は他の場所への転用を図ることにしました。



#### 4. まとめ

ThorensTD124 の再生において ZANDEN Model 120 に使用している Crystal E と Crystal E-G との置き換えの効果を認めました。

以上